事務事業調書	No   125   課 名   納税課   起 案 者   杉浦竜矢			
平成23年度		<b>係名</b> 納税係	<b>決 裁 者</b> 杉浦多久己	
事業種別	市民サービス	区分継続	<b>業務一覧No</b> 1, 6, 8, 10, 13, 22	
			他 係名 庶務係,市民税係,	
事務事業名	滞納整理事業		他係 業務一覧No 庶務係(4),市民税係(3,4,16),土地	

# 1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

	6 市民が主役となる環境づくり 4 行政経営			IJ			算科目 科目(款			一般会計 10-10-10		
総合計画体系	行政経営			総合	総合計画以外の計画			10 10 10				
	3 別/派	が唯体				関連す	る総合	計画の	の施策			
性質区分	法律な	- 法律などで実施が義務付けられているもの(義務			的 法定	受託事	务	無				
根拠法令	有	地方税法	去・国税徴収法			-						
実施方法	直	営	委託先	行政関	連団体							
実施期間	開始	平成元年	丰度	経過	22年目		終了				期間	
公約・議会答弁	無				•		-					•
陳情・市民要望	無											

### 2 事務事業の概要

2 争務争果の作	<b>以安</b>			
求める成果	誰(受益者)が	滞納者が	~になる	納税することで収納率が向上します。
事務事業の内容	行停止等の滞約	皆に対し、督促状・催告書の送付等 内処分を堅実に実施するとともに、 養務の充実化を図ります。	による納付催告、財産の 災害を受けた場合等の純	差押や裁判所に対する交付要求、執 税相談、納期限の緩和措置等によ
事務事業 進捗状況	差押につきる 産56件、債権4 産を所有してし ンターネットな	Eしては、前年度、不動産90件、債 80件、動産4件、合計540件に達しま いる滞納者は、債権確保のために不 公売による滞納整理手法を確立しま	権380件、合計470件であ ミした。換価性の高い預: 動産差押を積極的に実施 した。	りましたが、今年度は不動 金等差押を重点に置くとともに、不動 らし、新たに動産の差押を実施し、イ
改善・対策の履歴	差押目標件券 また、前年月 に動産の差押る	牧を400件とし、預金、生命保険、売 度より刈谷税務署へ直接提出される を実施し、インターネット公売によ	ē掛金の差押を重点に進∂確定申告書による所得税 確定申告書による所得税 る滞納整理手法を確立し	めました。 2還付金差押に着手しましたが、新た ました。
		環境目標〇-	−基本的施策○−具体的	施策〇
環境配慮の視点				

# 3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	<sub>15</sub>		<sub>16</sub>				平成20	0年度	平成2	1年度	平成2	2年度	平成23年度
		項目	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)				
	総事業費 f=a+d+e		86, 560	85, 394	86, 438	85, 373	119, 687	110, 708	116, 854				
		財源計a	11, 260	10, 094	11, 138	10, 073	14, 267	12, 818	11, 434				
	財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0				
		県 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0				
コスト		市債	0	0	0	0	0	0	0				
		その他( )	0	0	1	0	2	0	20				
		一般財源	11, 260	10, 094	11, 137	10, 073	14, 265	12, 818	11, 414				
	受 益 者 負 担 金		0	0	1	0	2	0	20				
	職	員人件費d	75, 300	75, 300	75, 300	75, 300	105, 420	97, 890	105, 420				
	内訳	従事職員数	10. 00	10. 00	10. 00	10.00	14. 00	13. 00	14. 00				
	人事!	課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0				

1

4 求	める原	<b>【果を得るため</b> の	の活動	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		活動名	職員、収納員による訪	見込(単位)	25, 000. 00	30, 000. 00	30, 000. 00	30, 000. 00
	活動	(活動内容)	問、徴収、交渉	実績b(単位)	31, 492. 00	31, 610. 00	30, 469. 00	
	1 1	指標名(単位)	臨戸滞納整理(件)	活動の総事業費f 実績	34, 120	34, 150	59, 910	
		111水口 (平区/		単位コストg=f÷b 実績	1. 08	1. 08	1. 97	
		活動名	夜間・土曜日に窓口を随 時開設し、納税相談を実	見込(単位)	800.00	1, 000. 00	1, 000. 00	1, 000. 00
活動	活動 ②	(活動内容)	施	実績b(単位)	1, 614. 00	1, 035. 00	953. 00	
/03/	2	指標名(単位)	夜間・土曜の納付窓口相	活動の総事業費f 実績	17, 060	17, 075	16, 860	
		1月1水口(十四)	談(件)	単位コストg=f÷b 実績	10. 57	16. 50	17. 69	
		活動名	換価のための財産差押	見込(単位)	300.00	400.00	400. 00	500. 00
	活動 3	(活動内容)		実績b(単位)	376. 00	470. 00	540. 00	
	3	指標名(単位)	差押(件)	活動の総事業費f 実績	34, 214	34, 148	33, 938	
		拍條名 (早 <u>世</u> )		単位コストg=f÷b 実績	90. 99	72. 66	62. 85	

#### 5(1) 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)		年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		現年度及び過年度分市税収納率(%)		見込(単位)	95. 00	95. 00	95. 00	0.00
	成果   1			実績(単位)	95. 12	94. 34	94. 66	
				達成状況	達成	未達成	未達成	
成果		目標成果指標値		0.00	目標達成年度		-	
从未		指標名・指標式	(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		現年度分国民健康保険税収約	内率(%)	見込(単位)	92. 00	92. 00	92. 00	0. 00
	成果			実績(単位)	90. 07	89. 02	91. 28	
				達成状況	未達成	未達成	未達成	
		目標成果指標値		0.00	目標達成年度		-	

#### 5(2) 成果1、2以外の成果

#### 市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入

臨戸訪問 (随時、一斉、収納員訪問) による滞納整理延べ日数は1,498日で、30,469千円、夜間納税窓口は平成21年度より随時開設とし、延べ日数は67日で、相談件数213件、5,945千円、土曜開庁及び休日窓口(随時)の開設日数は51日で、739件、20,909千円を収納しました。

# 6 単位コストと成果の分析

成果

<u> </u>		<b>、「こ然未の方面</b>
	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
	単位	臨戸滞納整理の件数を減らし、預金差押、昼間電話催告、納付催告書と警告文書送付を積極的に実施しましたので郵送料等コスト、夜間・土曜日の窓口相談の利用件数が減少したため、1件当りのコストが上がりました。
分析	コスト	
	成果 1,2	景気の後退により滞納者が増加傾向にあります。市税全体では昨年度対比で滞繰分は+6.06%と伸びましたが、現年分が△0.58%であり、全体では△0.24%となりました。 国保税におきましては、現年分△7.42%、滞繰分+2.56%、全体では△4.12%と低下しました。

#### 7 所属長の改善案

## コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する

滞納整理は時間と労力を必要とするため、基本的に窓口での納税相談により、自主納付を促すことが重要であります。しかしながら、悪質な滞納者については財産を差し押え、強制換価となるため、財産調査等差押の迅速化を図るとともに適正な執行停止を行います。さらに、労働形態の多様化・国際化に伴い、コンビニ収納など納付環境の整備も周知(充実)させていく必要があります。

## 8 方向性

改善

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
拡充	納税は国民の義務とされており、税の公平性も強く求められています。滞納処分については、継続して換価性の高い債権の重点的差押を進めます。 景気後退により、滞納整理は困難を極めつつあります。滞納処分の強化及び執行停止の早期見極め を図るとともに、自主納付促進策の構築、納税環境の整備に努めてまいります。